熊谷スマートシティ推進支援等業務委託
公募型プロポーザル競争選定結果について

熊谷スマートシティ推進支援等業務委託を実施するに当たり、プロポーザル競争によりその契約の相手方となる契約候補者を下記のとおり選定した。

記

1　業務委託名

熊谷スマートシティ推進支援等業務委託

2　契約候補者

有限責任監査法人トーマツ

3　全提案者の名称（申込受付順）

有限責任監査法人トーマツ

4　全提案者の評価点（得点順）

審査項目	満点	有限責任監査法人トーマツ
(1)実施体制、スケジュール、業務実績	50	35
(2)部会等運営・連絡調整に関する支援業務	100	72
(3)補助金申請書等作成支援業務	50	34
(4)協議会総会の運営・連絡調整に関する支援業務について	100	72
(5)熊谷スマートシティ「シーンスケッチコンテスト」の運営支援業務	50	40
(6)その他有益な提案	50	30
(7)提案価格	100	100
合　計	500	383 ※提案価格を除いた合計点 283 点
順　位	1	

5　契約候補者の選定理由

契約候補者として選定された有限責任監査法人トーマツは、全項目において６割を超える評価を得た中で、中心的な業務である「部会等運営・連絡調整に関する支援業務」及び「協議会総会の運営・連絡調整に関する支援業務」においては７割を超える評価を得た。更に、「熊谷スマートシティ「シーンスケッチコンテスト」の運営支援業務」においては独自の提案も盛り込み高く評価された。

6　熊谷スマートシティ推進支援等業務委託プロポーザル審査委員会委員及び選任理由

所属（所属）	選任理由
大島 英司（副市長） 長井 秀徳（市長公室長） 田谷 憲司（企画課長） 市川 浩央（デジタル推進課長） 市原 倫子（スマートシティ担当副参事）	適正かつ適切な選定のための見識を有するものとして、熊谷市ＤＸ推進本部副本部長を務める副市長を始め、熊谷スマートシティ推進協議会の各部会とも関わりの深いスマートシティサービスの実装担当部署及びＤＸ推進に携わる者から選任した。